

対話での問いかけ

今回の対話では、「個別最適な学びにおける『最適』とは何か？」「個別最適な学びを進めることにより得られるものだけでなく、失うものはないか？」といったことについて、下記の問いかけを基に、参加者は考えを深めました。

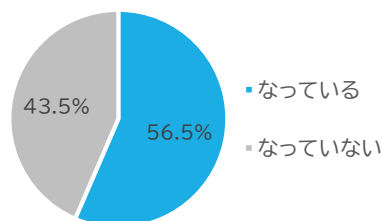
個別最適な学びとは、何を最適にする学びか？ 進度、分量、方法、動機、目標？

個別最適な学びの、最適とは何か？ 誰が、どのような状態を、最適と判断する？

個別最適な学びで、得られるものは何か？ 失うものはないか？

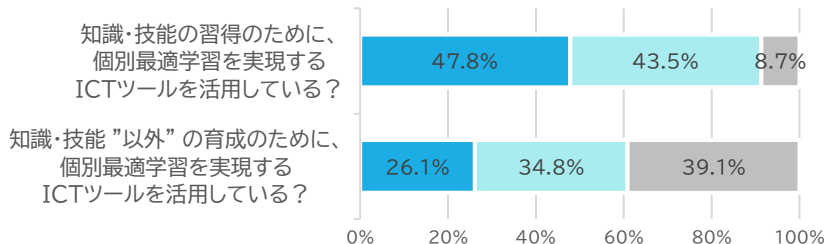
アイスブレイク アンケート

「個別最適な学び」は、
校内で話題になっている？



個別最適学習を実現するICTツールを活用している？

■活用している ■検討している ■活用・検討の予定はない



テーマ設定 背景

1人1台端末の整備が進み、教育DXなる言葉も当たり前に使われるようになってきている昨今、「個別最適な学び」の実現を目指す学校も増えています。一方で、この言葉から想起する学びのイメージは様々です。多くの学校で、個別最適な学びに関する議論も増えてきているからこそ、「どのような学びを目指すべきか」「何が期待できるのか、何に留意すべきなのか」などの問題意識を持ち寄り、対話を進めました。

話題提供 - 堀内 陽介 先生(広尾学園中学校・高校) -

- ・個別最適という言葉に触れる機会は増えたが、自分の実践はとなると『個別最適』といえるのだろうか。
- ・『個別』は生徒個々と理解している。では『最適』とは何か。何を最適にし、どうなると最適なのか。
- ・プロセスを最適にすると、「学習手法」「学習進度」は変わるが、「学習内容」「学習量」は変わっていない。
- ・「学習目標」「学習動機」を最適にすることは可能か？可能でも、それを自分で探ることが学びではないか？

対話の声

- ・「個別化」「効率化」「個性化」を定義したい。今は、「効率化の個別化」ばかり議論されている印象。(宮城)
- ・「生徒主体の学び」への転換も言われているが、「個別」という捉え方自体が教員目線ではないか。(福島)
- ・個別最適な学びが謳われる一方、協働的な学びへの期待も大きい。単純に分けて考えられるのか？(東京)
- ・「学びを自覚する」、いわゆるメタ認知力育成を目指す時、AI学習ツール活用との両立に悩む。(東京)
- ・「なんで学んでいるんだっけ？」を問える生徒を育成したい。受け身の学びに、問題意識がある。(神奈川)
- ・昔ながらの「個別指導」が、ツールによって簡単になった感覚。極端な変化ではないのでは。(岡山)

本プロジェクトへの「ご参加希望」「校内での対話型研修会のご要望」等は、運営事務局 [ベネッセ教育総合研究所 次世代の学び研究室\(nextlearning@mail.benesse.co.jp\)](mailto:benesse@benesse.co.jp)までご連絡ください。

本プロジェクトは、新型コロナウイルスの影響により全国の学校が休校せざるをえなかったことをきっかけに、有志により発足されました。プロジェクトでは、毎週行う学校教育活動に関する対話を通じて、「学校教育の革新と、生徒の気づきと学びの最大化」を目指しています。これまでに全国約 80 校から主に中学校・高等学校の教員が参画しています。過去の対話履歴はこちらをクリックください。 [2020](#) [2021](#)